

慶應大学生の研究を体験する3日間！

SFC未来構想キャンプ in 米子（鳥取）

Augmented Town ワークショップ

～XRとロボティクスで人、暮らし、地域医療の未来をひらく～

Augmented Town ワークショップでは、XRやロボティクスといった最新技術を駆使した新しい街のプラットフォームを、鳥取県内の特定地域をモデルケースに構築することを目指します。今年のテーマは

「人、暮らし、そして地域医療の未来」、キーワードは「拡張（augmentation）」です。

参加者の皆さんには、大学と地域が進める研究開発プロジェクトの一員として、対象地域での暮らしや医療の現場が抱える問題をリサーチし、地域の古き良い部分は残しつつ、「いま」に相応しい様々な技術、VR・AR・MR、ロボティクス、環境情報と人間情報の高精度センシング、さらにはWeb上の情報共有技術等を効果的に導入し、地域とそこに住む人々のコミュニティに新たな価値と存在感を生み出す仕掛けをプロトタイピングします。



対象：高校1,2年生
高等専門学校生

日程：2025年8月3日（日）－5日（火）2泊3日

会場：鳥取県米子市内

共催：鳥取県、一般社団法人WebDINO Japan

協力：米子市

定員：20名程度

参加費：約20,000円（宿泊費、食費、旅行保険料など含む）

※現地までの交通費などは自己負担となります

担当者：高汐一紀（環境情報学部）

瀧田佐登子（環境情報学部講師（非常勤）※秋学期予定）

課題公開・募集開始

5月29日（木）予定

募集締め切り

6月12日（木）正午予定

※申込可能なワークショップはいずれか1つです。

※応募受付は先着順ではありません。

課題による選考を行いますので、予めご了承ください。

お問合せ先

慶應義塾大学総合政策学部・環境情報学部

SFC未来構想キャンプ担当

0466-49-3418 平日（月～金）10:00-15:00（休祝日除く）

E-mail : camp-request@sfc.keio.ac.jp



イベント詳細はこちら